

令和3年度 東京都立保谷高等学校 学校運営連絡協議会 実施報告書

1 組織

- (1) 都立保谷高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 総務部主任（事務局長）、経営企画室長、総務部員2名 計4名
- (3) 内部委員の構成
副校長、経営企画室長、主幹教諭 計8名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者(大学教授)、西東京市教育委員会、西東京市子ども家庭支援センター長、近隣中学校長、近隣小学校長、地域代表、PTA会長、PTA同窓会長、計8名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和3年 5月14日（金）緊急事態宣言発令中につき書面開催
 - 第2回 令和3年11月12日（金）内部委員8名、協議委員7名
協議委員紹介、主旨説明、学校経営報告、昨年度の学校運営連絡協議会実施報告、学校経営計画説明、本校の現状と課題等説明、学校評価について、意見交換
 - 第3回 令和4年 2月10日（木）まん延防止等重点措置期間につき書面開催
学校評価アンケート結果・今年度の成果と次年度への課題の検討、書面による意見聴取
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和3年11月12日（金）内部委員4名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の観点・項目の検討、配付対象・回収方法（対地域）の検討
 - 第2回 令和4年 2月10日（木）まん延防止等重点措置期間につき書面開催

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
組織体としての学校がその教育機能をどの程度果たしているのかを、教育の目的・目標の達成度という観点から総合的・客観的に評価する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
令和3年12月から令和4年1月にかけて実施

○ 12月 生徒（全体）	939人中934人分の回収	回収率	99.5%
○ 12月 保護者	939人中807人分の回収	回収率	83.2%
○ 1月 地域社会	50人中10人分の回収	回収率	20.0%
○ 12月 教職員	51人中51人分の回収	回収率	100.0%
- (3) 主な評価項目

○ 学校運営に関すること	○ 学習指導に関すること	○ 生活指導に関すること
○ 進路指導に関すること	○ 健康・教育相談に関すること	○ 部活動・特別活動に関すること
○ 施設・設備に関すること	○ ライフ・ワークバランスの推進に関すること	○ 自由意見
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - 全体的に、肯定的な評価の割合が高かった。
 - 学校の課題や改革の方向性が明確となりやすかった。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ① 学校運営全般について

- 本校がどのような生徒を育てようとしているかを、4割が「知っている」と答える一方で、3割が「わからない」と回答している（生徒）。確認させる機会を設けてはどうか。
- 保護者の85%がPTAメールを登録・活用しているため、学校からの利用を増やすことで「学校は保護者が必要とする情報を発信している」の肯定回答（今回7割）の向上につなげる。
- ② 生徒対象の調査結果について
 - 授業満足度は、「学力や技能の向上等、自分の進歩が実感できたか」「学び方や取り組み方が身についたか」の平均で測った結果、肯定的回答の割合が前年度比14.6ポイント増加の67.6%となった。
 - 学校満足度は、「本校が自分を高めてくれる学校だと思うか」を問い、肯定的回答の割合が前年度比8.5ポイント増の88.4%であった。
 - 進路指導に関しては「生徒の適性や希望を生かした適切な進路指導が行われているか」「必要とする進路情報を適切に提供しているか」を問い、肯定的回答の割合が前年度比2.7ポイント増の75.7%であった。
- ③ 保護者対象の調査結果について
 - 授業満足度は、「子どもが学力や技能の向上等、自分の進歩を実感していると思うか」との問いで測り、肯定的回答の割合が前年度比2.1ポイント増の64.6%であった。
 - 学校満足度は、「本校に通って子どもが成長したと思うか」との問いで測り、肯定的回答の割合が前年度比4.5ポイント増の81.9%となった。
- ④ 地域対象の調査結果について
 - 今年度も、コロナ禍で学校関係者以外の来校が制限されていたため、校内の様子を知っていた機会がすくなかった。
 - 本校をよく知る近隣住民を中心に依頼した結果、生徒のマナーがよくなっている、教職員の指導がよくされているなどの肯定的意見をいただいた。
- ⑤ 教職員対象の調査結果について
 - 全体的に大きな変化は見られなかった。
 - 「学習に関する研鑽を通した自己研鑽」への肯定的意見の割合が増えている。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- 8名の外部委員のほとんどが留任され、昨年度との比較がしやすいという環境が整っていた。
- コロナ禍という厳しい状況が続く中で教育活動を進めているが、近隣小学校・中学校、大学といった異校種、市教育委員会や子ども家庭支援センターとも意見交換を行った結果、新たな視点からの教育のヒントが得られた。
- 学習面や生活面等で、生徒の成長が実感できる肯定的意見が増加し、子どもを安心して通わせることのできる学校と評価していただけた。
- コロナ禍でありながら、開催の難しい特別活動満足度が大きく上昇している。学校の取り組みに対する成果が出たのではないか。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 学校評価の分析数値に正確でない箇所があった。
- 同じような設問でも、生徒と保護者の肯定的意見の割合が異なっている。なぜ、そうなるのか、どのような対策をしていくかを考えてはどうか。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・ 教員の授業力向上に向け、研修機会の確保
- ・ 感染防止策を施した授業、学校行事、部活動等の実施
- ・ 新教育課程の完成と実施準備

(2) 学習指導

- ・ オンライン授業の本格化。令和4年度入学生からの一人1台端末への対応
- ・ 新学習指導要領に向けた観点別評価の導入

(3) 特別活動

- ・ 学年別ではあるが、文化祭、体育祭、球技大会の実施
- ・ オンラインを活用した学級経営、発表会、部活動の推進

(4) 生活指導

- ・ 自転車通学時の交通ルール順守の徹底
- ・ 生命の尊厳、自殺防止に向けた啓発活動
- ・ 問題行動（いじめ、暴力、暴言など）に対する防止策及び指導体制の拡充

(5) 進路指導

- ・ 個人面談の充実（進路指導部と担任とが連携した組織的な進路指導の実施）
- ・ 大学入学共通テストへの適切な対策、入試情報の迅速な把握

(6) 健康・安全

- ・ 「全ての都立高校で実施する地域との連携を強化した防災訓練」の計画、実施、評価
- ・ 生活指導部を中心とした生徒の問題行動への対応、スクールカウンセラーによる相談体制の確保・教員への研修

6 「今年度、学校は課題解決に向けて取り組んでいた」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人（有効回答数 6人）

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	1	0	0	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】 協議委員からのご意見を学校経営計画に反映させ、それをもとに企画調整会議を開催し、円滑な学校経営を行うことができた。

8 その他

協議委員からは、数多くのご意見やご提言をいただき、学校経営上の課題解決に活かすことができた。次年度についても、それらを学校経営計画に反映させ、学校改革を進めていく。